

プログラム

特別講演 5月11日(日) 10:30～12:10

A会場(十全講堂大ホール)

一般公開「金沢大学子どものこころの発達研究センター 共催」

司会：大伴 潔(東京学芸大学)

通訳：田中 裕美子(大阪芸術大学)

Overlap between autism spectrum disorders and more specific language disorder: diagnostic challenges

Dr. Courtenay Frazier Norbury Department of Psychology,
Royal Holloway, University of London

教育講演 1 5月10日(土) 10:00～11:00

A会場(十全講堂大ホール)

司会：大井 学(金沢大学)

自閉症のオキシトシンによる臨床試験の難しさ ～その背景にある3つのこと～

棟居 俊夫 金沢大学子どものこころの発達研究センター

教育講演 2 5月10日(土) 13:30～14:30

A会場(十全講堂大ホール)

司会：武居 渡(金沢大学)

人工内耳装用児の言語発達と指導

城間 将江 国際医療福祉大学保健医療学部 言語聴覚学科

特別支援教育における
言語・コミュニケーション障害がある子どもの教育の今

S1-1 通じ合っている実感を追いかけて

ノートルダム清心女子大学 青山 新吾

S1-2 特別支援学校の地域支援の立場から、子ども・保護者・担任を支援する

広島市立広島特別支援学校 地域支援部 堀川 淳子

S1-3 子どもへのねがい ～「人」を育てる

横浜市立八景小学校 きこえとことばの教室 吉田 麻衣

S1-4 特別支援教育への言語聴覚士の関与の現状と課題

Saya-Saya ことばの教室 松本美代子

成人のコミュニケーション障害における
会話分析の応用可能性をめぐって

S2-1 会話分析の臨床的有用性

浴風会病院 佐藤ひとみ

S2-2 会話分析の失語臨床への応用の可能性

愛知淑徳大学 健康医療科学部 吉田 敬

S2-3 Dysarthria 例への会話分析の応用と今後の展望

愛知淑徳大学 志村 栄二

S2-4 認知症患者への話しかけ場面の会話分析

日本大学 小池 高史

S2-5 会話分析の難聴への応用

京都大学 秋谷 直矩

一般演題(口頭発表)

第1日目 5月10日(土)

A群 吃音・構音障害 9:00～9:50

A会場(十全講堂大ホール)

座長：原 由紀(北里大学)

峪 道代(大阪府立母子保健総合医療センター)

A-1 吃音のある成人の評価法の開発 —質問紙試案の作成—

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 酒井奈緒美

**A-2 吃音の進展した小学校中学年児に対する指導
—コミュニケーション態度の変容**

福岡教育大学特別支援教育講座 見上 昌陸

A-3 非流暢性の引き金の序列について：日英語対照

豊橋技術科学大学 総合教育院 氏平 明

**A-4 12年間関わり続けることができた吃音の一事例
～小学校入学直前から就職まで～**

近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部 久保田 功

A-5 第一第二總弓症候群児の鼻咽腔閉鎖機能と構音について

独立行政法人 国立成育医療研究センター リハビリテーション科 柳澤 瞳

B群 学習障害・自閉症 11:10～12:10

A会場(十全講堂大ホール)

座長：原 恵子(上智大学)

権藤 桂子(共立女子大学)

B-1 読み困難児の単語音読検査結果

上智大学言語聴覚研究センター 原 恵子

**B-2 家族性発達性ディスレクシアの可能性がある
—卵性双生児及び父親の障害像と認知特性の検討**

東京大学 先端科学技術研究センター 河野 俊寛

B-3 自己紹介・共感ゲーム —自閉症の子とゲームでコミュニケーション4—

兵庫県立西はりま特別支援学校 山本 正志

B-4 PECSのフェイズⅢ通過と発達の関係性について

平谷こども発達クリニック 山口 大輔

B-5 外国人の子どもの学習 / 行動困難に及ぼす要因の探索

大阪大学大学院 連合小児発達学研究所(金沢校) 近田由紀子

B-6 学童期における話しことば・書きことばの習得とその躰きについて：
縦断的調査の結果から

大阪芸術大学 田中裕美子

C 群 聴覚・人工内耳 9:00～9:40 **B 会場(教育棟第2講義室(遠隔;第1講))**

座長：井脇 貴子(愛知淑徳大学)

C-1 当施設の人工内耳装用児について

富士見台聴こえとことばの教室 伊集院亮子

C-2 人工内耳装用児に対する音声会話における訂正方略指導の必要性の検討

国際医療福祉大学 平島ユイ子

C-3 大阪府立母子保健総合医療センター耳鼻咽喉科における
軽度・中等度難聴児の補聴器装用状況

大阪府立母子保健総合医療センター 大黒 里味

C-4 使用電極数が制限された人工内耳装用児1例の経過報告

大阪府立母子保健総合医療センター 塩見 千夏

D 群 医療と教育の連携 11:10～12:10 **B 会場(教育棟第2講義室(遠隔;第1講))**

座長：畦上 恭彦(国際医療福祉大学)

D-1 言語聴覚士の特別支援学校との連携

日本歯科大学 口腔リハビリテーション 多摩クリニック 松木るりこ

D-2 医療と教育の連携における ST の役割
— 構音・学習・行動に躰きのある事例を通して —

北里大学病院 耳鼻咽喉科 阿曾 寛子

D-3 インクルーシブ教育と絵本 — ちがいについて —

名古屋第一赤十字病院 平林あゆ子

E 群 高次脳機能障害 11:10～12:10 B会場（教育棟第2講義室（遠隔；第1講））

座長：廣實 真弓（帝京平成大学）

E-1 発声失行が疑われた一例

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 中川 雅文
リハビリテーション部 言語療法科

E-2 外来で介入した認知症3例の高次脳機能障害

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科 加藤 菜由子

E-3 急性期脳損傷患者における日常会話の評価：会話分析を用いた検討

医療法人社団誠馨会 新東京病院 加藤 彰洋

一般演題(口頭発表)

第2日目 5月11日(日)

F群 小児検査評価法Ⅰ 8:45～10:15

A会場(十全講堂大ホール)

座長: 下嶋 哲也(国立障害者リハビリテーションセンター学院)

- F-1** 仮名ひろいテストを用いた児童期における
持続的注意・視覚性配分的注意に関する評価指標の検討
富山大学大学院人間発達科学研究科 千代あやこ
- F-2** 児童の Rey 複雑図形テストの尺度構成の検討と書字との関連
—主成分分析結果に基づいた新たな採点法の検討—
横浜市リハビリテーション事業団 荻布 優子
- F-3** コミュニケーション言語から学習言語への移行期における表出語彙の発達:
言語表出誘発課題の開発Ⅱ-1
大阪芸術大学 田中裕美子
- F-4** コミュニケーション言語から学習言語への移行期におけるナラティブの発達:
言語表出誘発課題の開発Ⅱ-2
新潟大学 教育学部 入山満恵子
- F-5** コミュニケーション言語から学習言語への移行期にある3事例への実施:
言語表出誘発課題の開発Ⅱ-3
新潟市民病院 青木さつき

G群 小児検査評価法Ⅱ 8:45～10:15

A会場(十全講堂大ホール)

座長: 遠藤 重典(国際医療福祉大学)

- G-1** 発達障害児における読み書き能力について(1)
—保護者アンケートの分析—
北里大学 医学部 精神科学 地域児童精神科医療学 井上 勝夫
- G-2** 発達障害児における読み書き能力について(2)
—読み書き読解検査の分析—
島田療育センターはちおうじ 柴 玲子
- G-3** 学習到達度や読解力の向上を目標とした言語指導を可能とする
評価システムの構築 —新たな読解モデルの構築—
富山大学人間発達科学部 川崎 聡大

G-4 発達性ディスレクシア児に対する漢字書字正確性に関する指導と
ロゴジェンモデルに則った改善機序の検討

富山大学 人間発達科学部 多田 智絵

H群 失語症 8:45～9:55

B会場(教育棟第2講義室(遠隔;第1講))

座長:目黒 文(新潟厚生連長岡中央総合病院)

H-1 失語症者の描画アプリを併用したメール操作の検討

県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科 坊岡 峰子

H-2 聴覚的言語刺激を介した自主訓練により音読能力に改善が及んだ
慢性期運動性失語の一例

特定医療法人有隣会 東大阪病院 石川 陽介

H-3 失語症者に対する回復期と維持期をつなぐ連携の在り方

ことばの道デイサービス 安居 和輝

H-4 失語症者が主体的に取り組んだ防災対策の試み

地域活動支援センターすももクラブ 平野 佳子

H-5 失語のある人の会話における喚語困難および代償ストラテジー：
会話制約条件の違いによる検討

筑波大学大学院人間総合科学研究科 平原 美緒

I群 AAC 8:45～9:55

B会場(教育棟第2講義室(遠隔;第1講))

座長:吉畑 博代(上智大学 言語聴覚研究センター)

I-1 シンボル・コミュニケーション指導の長期経過
—指導経過と指導終了後の使用状態

北九州市立総合療育センター 高橋 ヒロ子

I-2 カードホルダー式コミュニケーションノートを用いた
失語のある人の自発的な意思伝達内容の検討

我孫子市障害者福祉センター 竹中 啓介

ポスター発表

ポスター掲示 5月10日 11:00～11日 15:00 (16:00までに撤去)

ポスター質疑応答 奇数:5月10日 12:10～12:40、偶数:11日 12:10～12:40

※ 上記質疑応答時間に在席出来ない発表者の振り替え在席時間、上記以外にも発表者が在席可能な時間帯がある場合は、学会期間中に掲示してお知らせする予定です。奮ってご討議にご参加ください。

J群 失語症・高次脳機能障害

J-1 在宅復帰後にみえてきた問題へのアプローチを行った生活期失語症者の一例

特定医療法人 有隣会 東大阪病院 鬼頭 照奈

J-2 言語聴覚士によるストレングスモデルを用いた友の会活動への支援の効果

医療法人社団永生会 永生病院 渡邊 真帆

J-3 失語症者における平叙文・疑問文イントネーション認知に関する研究
—アクセント型による比較—

上智大学大学院 言語聴覚研究コース 土屋かおり

J-4 重度失語症者の視覚シンボルの理解 —JIS 絵記号を用いて—

上智大学大学院 言語聴覚研究コース 山上 裕子

K群 認知症

K-1 認知症者における会話中の質問に対する応答の分析

愛知淑徳大学 健康医療科学部 吉田 敬

K-2 聴覚処理障害と SPECT に関する一考察

岡崎市民病院リハビリテーション室 堀籠 未央

L群 摂食、構音障害

L-1 運動性構音障害者の明瞭度測定における読唇情報の影響
—一般成人による評価—

上智大学大学院 言語聴覚研究コース 安藤 静香

L-2 ダウン症児の離乳に関するアンケート調査 —21名を対象に—

姫路獨協大学 医療保健学部 中嶋 理香

M群 発達(支援)

- M-1** 有意味発話のない自閉症児の1歳11ヵ月から12歳までの発達経過
川崎医療福祉大学医療技術学部 感覚矯正学科 小坂 美鶴
- M-2** ASD児の不定形な発声の発達的变化Ⅱ：18ヵ月間の記録より
東洋大学ライフデザイン学部 篠沢 薫
- M-3** 特別支援学校の環境に合わせたPECSによるコミュニケーション指導
—発声・発語の効果的な促進—
富山市立山室小学校 宮崎 光明
- M-4** 不安の強さが主たる要因である場面緘黙児の一般的な状態像
—高学年・中学生緘黙女児6例の特徴から—
長野大学 社会福祉学部 高木 潤野
- M-5** 知的障害や自閉症の人のためのやさしく読める本(LLブック)の
制作に関する研究(2)
京都府立南山城支援学校 藤澤 和子
- M-6** TRPGサークルに参加するASD大学生の語りの分析：
余暇活動を通じたコミュニケーション支援の観点から
東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 加藤 浩平
- M-7** 保育現場が求めている専門家による保育支援とは何か(2)：
障害の違いによる保育者の支援二ード
帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科 野村 直子
- M-8** 言語発達障害児を持つ母親に対する心理カウンセリングの効果の検討
—抑うつ重症度の変化について—
新潟医療福祉大学 石本 豪

N群 発達(基礎)

- N-1** 学齢期低出生体重児における単語音読時の視線の動き
大阪大学大学院人間科学研究科 井崎 基博
- N-2** 重度・重複障害児と母親の相互交渉における共同注視成立パターン
十文字学園女子大学 特別支援教育センター 吉川 知夫
- N-3** 幼児の人の声に対する脳反応と言語能力の関係
金沢大学 人間社会研究域 吉村 優子

- N-4** CCC-2による通級児童のコミュニケーションの実態調査(1)：
特異的言語発達障害(SLI)における語用の特徴
東京学芸大学 藤野 博
- N-5** CCC-2による通級児童のコミュニケーションの実態調査(2)：
ASDとADHDにおける語用の特徴
東京学芸大学大学院教育学研究科 齋藤 仁美
- N-6** 上海在住の日本人児童および幼児の生活環境が日本語の言語発達に与える
影響についての調査
医療法人 荒尾内科・耳鼻咽喉科 名倉 知里
- N-7** 定型発達児と自閉症スペクトラム児における「心の理論」の獲得と
言語発達レベルに関する予備的検討
社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター 辰巳 朝子
- N-8** 自閉症スペクトラム障害児の他者視点取得に関する検討
東京学芸大学大学院 教育学研究科 綿貫 愛子

0 群 音韻、読み書き、発達性ディスレクシア

- 0-1** 読みの獲得段階における未熟さと読み障害の違いはどこにあるのか？
—音韻分析を用いて—
日本学術振興会 特別研究員 PD 迫野 詩乃
- 0-2** 漢字書字に困難を示した小学生の誤書字の経時的変化
江東区障害者リハビリテーションセンター 雨宮 晴美
- 0-3** オンディーヌ症候群の指導経験 —音韻発達の遅れが疑われた一例—
大阪市立総合医療センター 小児言語科 草間由実子
- 0-4** 平仮名清音—文字—音対応の習得にキーワード法が有効であった
年長児2名の濁音習得過程
平谷こども発達クリニック 高井 雪帆
- 0-5** 家族性の発達性 dyslexia と考えられる一事例
北里大学医療衛生学部 石坂 郁代
- 0-6** 発達性 dyslexia のフォニックスを用いた英単語の decoding 訓練
—経過報告—
福井医療短期大学 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 村田 里佳

P群 吃音

P-1 家庭で言語指導を行う保護者の吃音に対する態度の変化

北海道大学大学院文学研究科 藤井哲之進

P-2 母子通園施設における軽度吃音児へのST指導経過
—幼児期から学童期にかけてのかかわり

東神楽町・東川町子ども発達支援センター おひさま 熊田 広樹

Q群 聴覚

Q-1 愛知県西部地域における新生児聴覚スクリーニング検査の現状と問題点

愛知淑徳大学 医療福祉研究科 榊田 未紘

Q-2 指文字、文字を介して音声言語を獲得した難聴重複障害児の一事例

北里大学 医療衛生学部 水戸 陽子

Q-3 SISI (Short Increment Sensitivity Index) 検査における
周波数と個人差について

関西総合リハビリテーション専門学校言語聴覚学科 堀田 修